

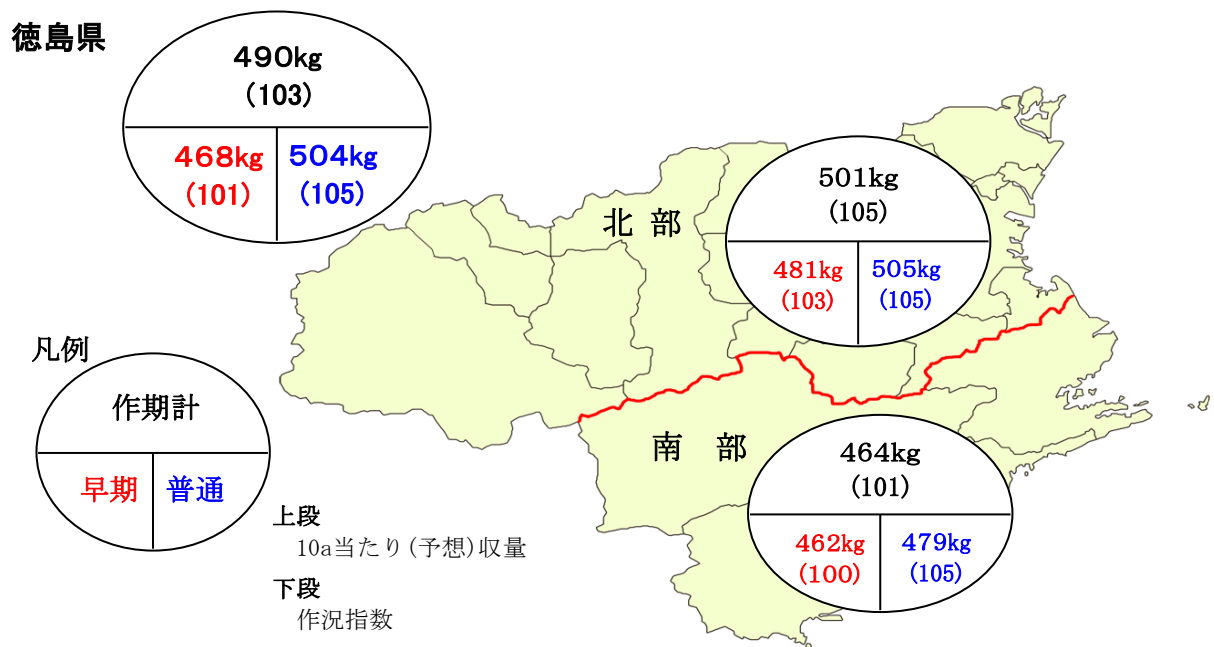
平成25年産水稻の作付面積及び9月15日現在における作柄概況(徳島県)

－ 水稻の10a当たり予想収量は490kg(作況指数103)の見込み －

調査結果の概要

- 1 平成25年産水稻の作付面積(青刈り面積を含む。)は1万3,600haで、うち主食用作付見込面積は1万3,100haが見込まれます。
- 2 9月15日現在における水稻の作柄は、4月上旬から5月上旬にかけての寒気の流れ込み等の影響がみられたものの、その後は総じて気象に恵まれて推移していることから、県平均の10a当たり予想収量は490kg(作況指数103)が見込まれます。
- 3 作期別にみると、早期栽培の10a当たり収量は468kg(作況指数101)となりました。普通栽培の10a当たり予想収量は504kg(作況指数105)が見込まれます。
- 4 主食用作付見込面積に10a当たり予想収量を乗じた予想収穫量(主食用)は6万4,200tが見込まれます。

図 地帯別作期別10a当たり(予想)収量(9月15日現在)



- 1 主食用作付見込面積とは、水稻作付面積(青刈り面積を含む。)から、生産数量目標の外数として取り扱う米穀等(備蓄米、加工用米、新規需要米等)の作付面積を除いた面積(見込み)です。
- 2 作況指数とは、10a当たり平年収量に対する10a当たり(予想)収量の比率をいいます。
- 3 この作柄は、その後の気象が平年並みに推移するものとして予測したものです。したがって、今後の気象条件により作柄は変動することがあります。なお、9月16日に本州に上陸した台風第18号による影響は、現段階で把握できる被害について見込んでいます。
- 4 統計調査における調査目的、調査対象、北部、南部の範囲などは「調査の概要」(P6)に記載しています。

解 説

1 水稻作付面積（青刈り面積を含む。）

平成25年産水稻の作付面積（青刈り面積を含む。）は1万3,600haで、前年産並みとなりました。なお、水稻作付面積（青刈り面積を含む。）から、生産数量目標の外数として取り扱う米穀等（備蓄米、加工用米、新規需要米等）の作付面積を除いた主食用作付見込面積は1万3,100haが見込まれます。

2 作柄

（1）早期栽培

- ア 田植後の低温等による分けつの抑制や疎植栽培が進んでいることから、穂数は「少ない」となりました。
- イ 1穂当たりもみ数は、幼穂形成期の気温が平年を上回ったことや、穂数が少なかったことの補償作用等により「やや多い」となり、全もみ数は「やや少ない」となりました。
- ウ 登熟は、出穂期以降、総じて気象に恵まれて推移したことから、「やや良」となりました。
- エ 以上のことから、早期栽培の10a当たり収量は468kg（作況指数101）となりました。

（2）普通栽培

- ア 田植後の気温がおおむね平年を上回ったものの、疎植栽培が進んでいることから、穂数は「平年並み」となりました。
- イ 1穂当たりもみ数は、幼穂形成期の気温が平年を上回ったことにより「やや多い」となり、全もみ数は「やや多い」となりました。
- ウ 登熟は、出穂期以降、総じて気象に恵まれていることから、「やや良」で推移しています。
- エ 以上のことから、普通栽培の10a当たり予想収量は504kg（作況指数105）が見込まれます。

3 予想収穫量（主食用）

主食用作付見込面積に10a当たり予想収量を乗じた予想収穫量（主食用）は6万4,200tが見込まれます。

表1 平成25年産水稻の作付面積及び9月15日現在の10a当たり（予想）収量（作況指数）

区 分	作 付 面 積(青刈り面積を含む。)			10a当たり (予想)収量	10a当たり 平年収量	作況指数	参 考	
	実 数	前年産との比較					主食用作付 見込面積	予想収穫量 (主食用)
		対差	対比	④	⑤=①×④			
	ha	ha	%	① kg	② kg	③=①/②	ha	t
徳 島 県	13,600	0	100	490	474	103	13,100	64,200
作柄表示地帯別								
北 部	9,570	△ 50	99	501	479	105	…	…
南 部	4,010	△ 10	100	464	461	101	…	…
作 期 別								
早 期 栽 培	5,350	20	100	468	463	101	…	…
普 通 栽 培	8,240	△ 70	99	504	480	105	…	…

注：1 主食用作付見込面積及び予想収穫量（主食用）の内訳を「…」としているのは、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を作柄表示地帯別及び作期別に把握していないためです。

2 作柄表示地帯別及び作期別の作付面積の積み上げ値と徳島県計が合致しない場合があるのは、四捨五入（P8参照）のためです。

3 表中の「△」は、減少を示します。

表2 作柄概況

区 分	10a当たり (予想)収量	10a当たり 平 年 収 量	作 況 指 数 ③=①/②	穂 数 の 多 少 (一 穂 も み 当 た り の 多 少 (全 も み 数 の 多 少 (登 熟 の 良 否 (
	①	②		平	年	比	較
早 期 栽 培	468	463	101	少ない	やや多い	やや少ない	やや良
北 部	481	466	103	やや少ない	やや多い	平年並み	やや良
南 部	462	462	100	少ない	やや多い	やや少ない	やや良
普 通 栽 培	504	480	105	平年並み	やや多い	やや多い	やや良
北 部	505	481	105	平年並み	やや多い	やや多い	やや良
南 部	479	456	105	平年並み	やや多い	やや多い	やや良

注： 本表の「穂数」「1穂当たりもみ数」「全もみ数」の多少及び登熟の良否に用いた表示区分は、「統計表の見方」(P8)を参照して下さい。

区 分	出 穂 期					刈取済 面積割合	対平年差
	始 期	最 盛 期	終 期	最盛期の比較			
	月 日	月 日	月 日	対平年	対前年	%	ポイント
早 期 栽 培	7. 8	7. 16	7. 25	1日早	2日早	100	0
北 部	7. 11	7. 17	7. 25	2日早	3日早	100	0
南 部	7. 7	7. 15	7. 25	1日早	1日早	100	0
普 通 栽 培	7. 18	7. 30	8. 28	3日早	2日早	66	0
北 部	7. 18	7. 30	8. 28	2日早	2日早	65	0
南 部	7. 17	8. 1	8. 20	3日早	1日早	83	4

注： 出穂期の始期とは出穂済み面積割合が5%、最盛期は同50%、終期は同95%にそれぞれ達した期日です。

◎ 早期栽培累年データ

	作付面積 (子実用)	10 a 当たり収量	10 a 当たり 平 年 収 量	作況指数	収穫量 (子実用)
	ha	kg	kg		t
平成15年産	5,160	447	468	96	23,100
16	5,170	460	465	99	23,800
17	5,290	480	463	104	25,400
18	5,290	440	463	95	23,300
19	5,260	445	463	96	23,400
20	5,350	488	463	105	26,100
21	5,330	458	463	99	24,400
22	5,190	453	463	98	23,500
23	5,080	449	463	97	22,800
24	5,100	464	463	100	23,700

注： 作付面積（子実用）とは、青刈り用の面積を除いた面積です。（以下の各表において同じ。）

◎ 普通栽培累年データ

	作付面積 (子実用)	10 a 当たり収量	10 a 当たり 平 年 収 量	作況指数	収穫量 (子実用)
	ha	kg	kg		t
平成15年産	8,910	458	475	96	40,800
16	8,940	464	477	97	41,500
17	8,790	491	480	102	43,200
18	8,780	467	480	97	41,000
19	8,710	493	480	103	42,900
20	8,520	514	480	107	43,800
21	8,410	479	480	100	40,300
22	8,290	482	480	100	40,000
23	8,140	472	480	98	38,400
24	8,120	485	480	101	39,400

◎ 水稲調査結果の利活用

- ・ 「主要食糧の需給及び価格の安定に関する法律」（平成6年法律第113号）に基づき毎年定めることとされている「米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針」及び米穀の需給見通しのための資料
- ・ 「食料・農業・農村基本計画」における生産数量目標の策定及び達成状況の検証のための資料
- ・ 「農業災害補償法」（昭和22年法律第185号）に基づく農作物共済事業における共済基準収穫量算定のための資料 等

◎ 徳島県計の累年データ

水稲の年次別推移（徳島県）

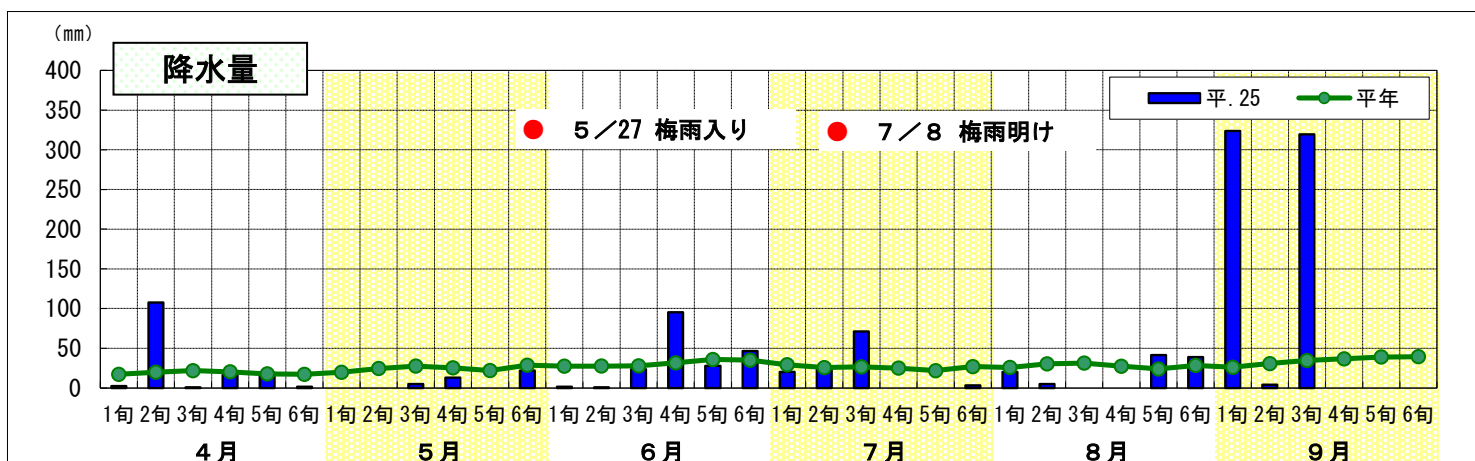
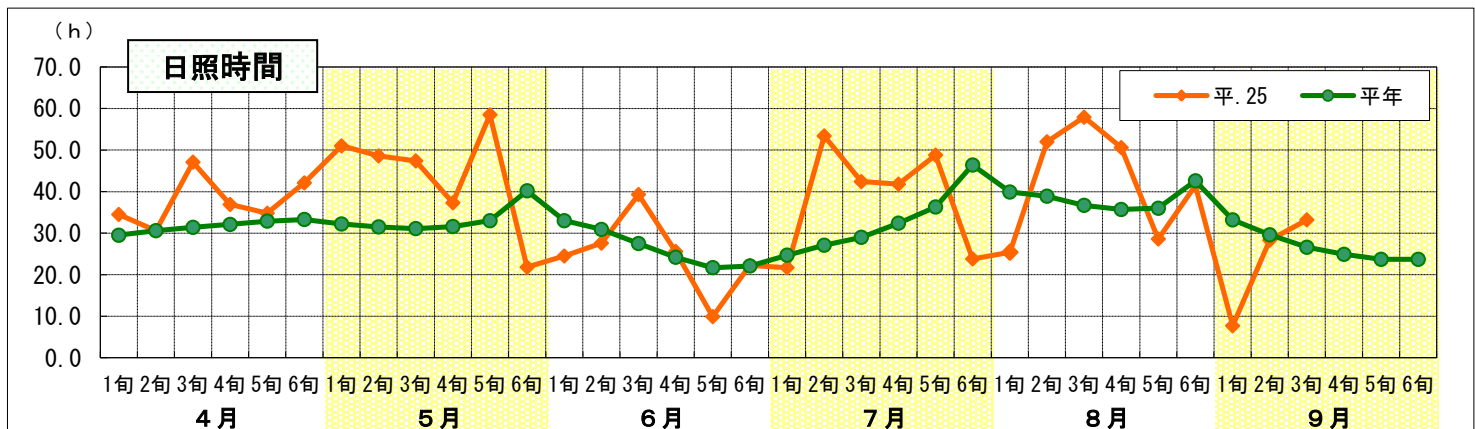
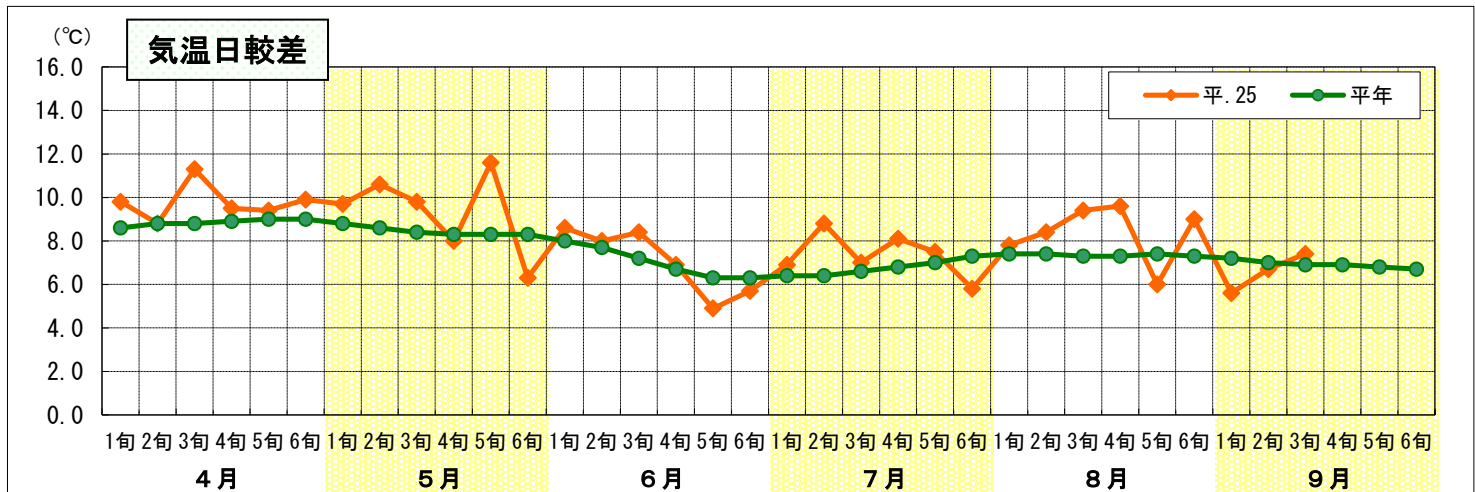
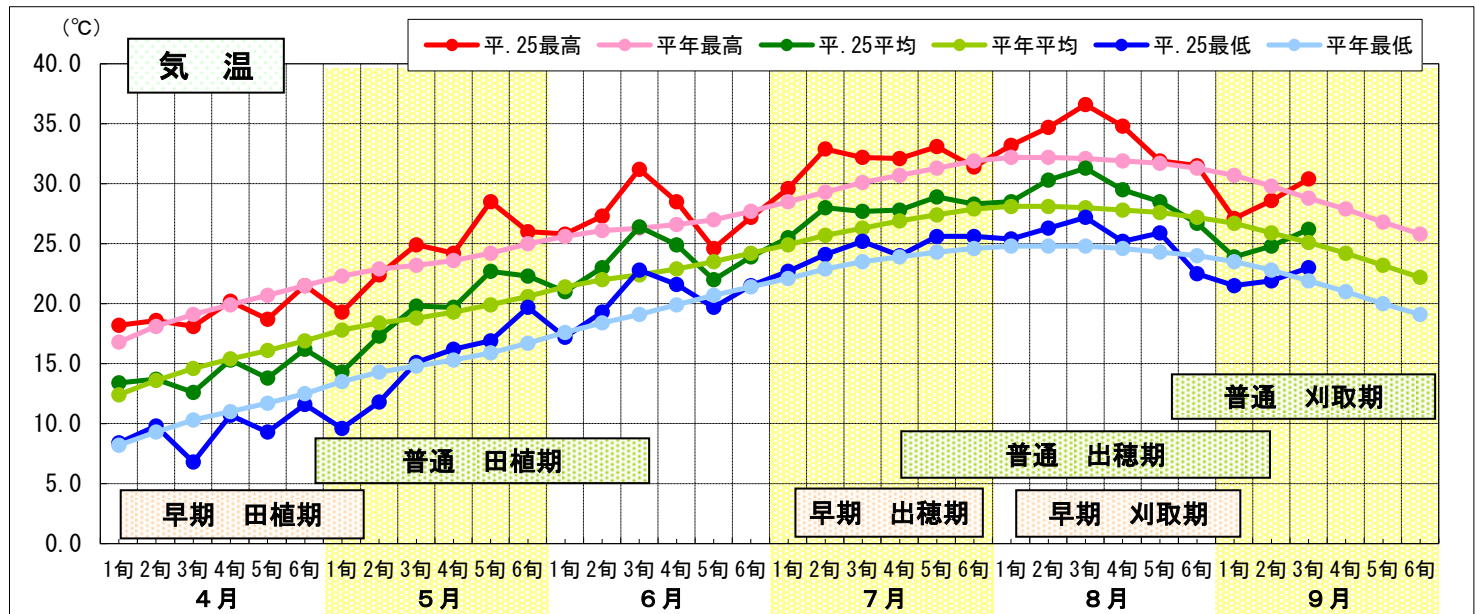
区 分	作付面積 (子実用) ha	10a当たり 収 量 kg	10a当たり 平年収量 kg	作 況 指 数	収 穫 量 (子実用) t	(参 考)	
						主 食 用 作 付 面 積 ha	収 穫 量 (主食用) t
昭和58年産	17,500	442	410	108	77,400	…	…
59	17,700	457	414	110	80,900	…	…
60	18,000	464	418	111	83,500	…	…
61	17,700	448	424	106	79,300	…	…
62	16,700	443	427	104	74,000	…	…
63	16,400	447	432	103	73,300	…	…
平成元	16,400	441	436	101	72,300	…	…
2	16,400	434	441	98	71,200	…	…
3	16,300	436	445	98	71,100	…	…
4	16,700	425	445	96	71,000	…	…
5	16,800	388	445	87	65,200	…	…
6	17,200	504	445	113	86,700	…	…
7	16,800	484	445	109	81,300	…	…
8	16,200	472	447	106	76,500	…	…
9	15,800	449	453	99	70,900	…	…
10	15,300	452	455	99	69,200	…	…
11	15,100	464	462	100	70,100	…	…
12	14,900	476	468	102	70,900	…	…
13	14,500	471	468	101	68,300	…	…
14	14,300	476	472	101	68,100	…	…
15	14,100	453	472	96	63,900	…	…
16	14,100	463	472	98	65,300	…	…
17	14,100	487	474	103	68,700	…	…
18	14,100	457	474	96	64,400	…	…
19	14,000	475	474	100	66,500	…	…
20	13,900	504	474	106	70,100	13,900	70,100
21	13,700	471	474	99	64,500	13,700	64,500
22	13,500	471	474	99	63,600	13,500	63,600
23	13,200	463	474	98	61,100	13,200	61,100
24	13,200	477	474	101	63,000	13,100	62,500

注：1 主食用作付面積とは、水稲作付面積（青刈り面積を含む。）から、生産数量目標の外数として取り扱う米穀等（備蓄米、加工用米、新規需要米等）の作付面積を除いた面積です。

2 「…」は事実不詳又は調査を欠くものです。

平成25年 稲作期間の気象経過

資料：気象庁
観測地点：徳島



調査の概要

1 調査の目的

本調査は、作物統計調査の水稲作付面積調査及び水稲作柄概況調査として実施し、水稲の作付面積、作柄状況を明らかにすることにより、生産対策、需給調整、経営安定対策、技術指導等の農林水産行政推進のための資料とすることを目的としています。

2 調査の区分

調査は、早期栽培、普通栽培ごとに、県内を北部、南部に区分して実施しています。

北部：徳島市、鳴門市、小松島市、吉野川市、阿波市、美馬市、三好市、勝浦町、上勝町、佐那河内村、石井町、神山町、松茂町、北島町、藍住町、板野町、上板町、つるぎ町、東みよし町

南部：阿南市、那賀町、牟岐町、美波町、海陽町



3 調査対象数

(1) 作付面積調査

標本単位区：507単位区 巡回・見積り：24市町村

(2) 作柄概況調査

作況標本筆：150筆 作況基準筆：6筆 巡回・見積り：24市町村

4 調査事項

水稲の作付面積、穂数の多少、もみ数の多少等の生育状況、登熟状況、被害状況及び耕種状況

5 調査期日

(1) 作付面積調査：7月15日現在

(2) 作柄概況調査：9月15日現在

6 調査方法

(1) 作付面積調査

調査は、標本単位区に対する職員及び統計調査員による実測調査並びに職員による巡回・見積りの方法により行いました。

(2) 作柄概況調査

調査は、作況標本筆及び作況基準筆に対する職員による実測調査並びに作況基準筆調査結果に基づく巡回・見積りの方法により行いました。

7 集計の方法

(1) 作付面積調査

対地標本実測調査結果及び巡回・見積り結果により取りまとめました。

(2) 作柄概況調査

調査事項について、作況標本筆調査結果を集計し、作況基準筆調査結果に基づく巡回・見積りの方法により補完して取りまとめました。

8 用語の解説

(1) 10a当たり平年収量

水稻の栽培を開始する以前に、その年の気象の推移や被害の発生状況を平年並みとみなし、最近の栽培技術の進歩の度合や作付変動等を考慮し、実収量のすう勢をもとに作成したその年に予想される10a当たり収量をいいます。

(2) 早期栽培

台風の影響を受けやすい時期に出穂期（しゅっすいき）となることを回避する等から、おむね8月中旬頃までに収穫する目的で作付けする栽培方法です。

(3) 穂数

単位面積当たりに出穂した全ての穂の数です。収量決定に当たって重要な要素の一つです。

(4) 全もみ数

単位面積当たりの全てのもみの数のことです。収量決定に当たって極めて重要な要素です。

(5) 登熟

開花、受精した後、実が肥大し熟れていくことです。生育条件や気象条件、病害虫などの影響を受けます。

(6) 青刈り

子実の生産以前に刈り取られて飼肥料などとして用いられるもの（WCS用稲、わら専用稲等を含む。）のほか、飼料用米、バイオ燃料用米を指します。

9 利用上の注意

本調査における作柄概況（9月15日現在）は、その後の気象が平年並みに推移するものとして予測を行いました。したがって、今後の気象条件により作柄は変動することがあります。

統計表の見方

- 1 表中で用いた表示区分は、過年次の作況標本筆結果から作成した各指標の平年値に対する比率を次のとおりの区分で表したものです。

多 少 (良 否)	少 ない (不 良)	やや少ない (やや不良)	平 年 並 み	やや多い (やや良)	多 い (良)
対平年比	94%以下	95～98%	99～101%	102～105%	106%以上

- 2 表中の統計数値については、下記の方法によって四捨五入しています。

原 数		5 桁 (1 万)	4 桁 (1,000)	3 桁以下 (100)
四捨五入する桁数 (下から)		2 桁	1 桁	四捨五入 しない
例	四捨五入する前 (原数)	12,345	1,234	123
	四捨五入した後 (統計数値)	12,300	1,230	123

水稻関係発表予定

- ◎ 10月 平成25年産 水稻の作付面積及び予想収穫量 (10月15日現在) (徳島県)
- ◎ 12月 平成25年産 水稻の収穫量 (徳島県)

～この農林水産統計に関するお問い合わせはこちらへ～

中国四国農政局徳島地域センター

農政推進グループ 総括農政情報官 (生産流通消費統計担当)

Tel : 088-625-6990 (内線351) Fax : 088-654-1383



この農林水産統計は、中国四国農政局ホームページでご覧いただけます。

<http://www.maff.go.jp/chushi/nousei/tokushima/>



平成25年11月1日現在で、2013年漁業センサスを実施します。

(流通加工調査については平成26年1月1日現在)

調査員がお伺いしましたら、ご協力をお願いします。